



「街フォトスクラップ」



吾 平の春の風物詩 「あいら木市祭」

1月13日・14日の2日間、吾平町商店街で「第24回名物あいら木市祭」が開催されました。歩行者天国となった商店街一帯には、県内外から、植木や苗木、盆栽などが出店したほか、地元の商店街が特産品などを販売。特設ステージでは、カラオケショーなどが開催されました。天候にも恵まれた木市には2日間で約8,000人が訪れ、大盛況となりました。



串 良名物の 「二十三や市」

1月20日・21日の2日間、串良総合支所周辺で「くしら二十三や市」が開催されました。大隅路に春を告げる行事として親しまれ、約300年の長い歴史を持っているこの市。約800mの歩行者天国には植木や苗木、刃物、陶器、竹細工など約300店の露店などが立ち並び、期間中は寒さも和らぐ絶好の天候に恵まれ、多くの来場者が買い物を楽しみました。



給 食で味わう 黒牛のステーキ

1月19日から26日にかけて、市内の全36小・中学校の学校給食に、A5ランクの鹿児島黒牛をつかったステーキ丼が提供されました。これは、子どもたちに地元食材の魅力を伝えるために、市と市内の3農協が連携し実施したものです。牛の生産者などが訪れた教室では、一緒に給食を食べたあと、子どもたちが牛について質問するなど、交流が行われました。



新 しい年の健康を願う 伝統行事「鬼火たき」

1月、市内の各地で「鬼火たき」が行われました。鬼火たきは、竹などで組まれたやぐらを焼いて、正月飾りなどを燃やすことで悪霊(鬼)を追い払い、無病息災を願う鹿児島の伝統行事。集まった人たちは、パチパチと燃え上がる炎を眺めながら、餅やぜんざいを食べるなどし、新しい一年の健康を願うとともに地域での交流を深めていました。



大 舞台へ漕ぎ出す 選手を激励

1月10日、鹿屋工業高校ボート部の選手・監督や学校関係者が市役所を訪問しました。これは昨年11月に行われた「第29回全国高等学校選抜競漕大会九州地区予選」の男子舵手付ワドルプル部門で準優勝の成績を収め、3月に静岡県で開催される全国大会への出場が決定したことに伴い行われたもの。工業生たちの全国での活躍が期待されます。



ダ イナミックな プレーに沸く

1月13日・14日の2日間、串良平和アリーナでバスケットボールB3リーグ公式戦「鹿児島レブナイズ 対 東京エクスレンス」が行われました。鹿児島市を本拠地とする鹿児島レブナイズに声援が集まる中、対戦結果は1勝1敗。ダンクシュートも飛び出すなど、一流のスピードとパワーあふれるプレーに、会場は大いに盛り上がりました。



商 店街で学べる ゼミナール

1月15日、北田・大手町商店街、鹿屋本町一番商店街で「鹿屋まちゼミ」が始まりました。14店舗で24講座が行われるこのゼミは、商店街の店舗の人が講師になって、プロならではの知識やコツなどを教える少人数制の講座。商店街の身近な店舗ならではの特色を生かした体験講座で、参加者とお店の人との楽しい交流が、2月20日(火)まで行われます。



ト ライアスロンの 強豪が合宿

1月10日、トライアスロンチーム「チームケンズ」の選手、監督らが市役所を訪問しました。「チームケンズ」はオリンピック出場選手も擁し、世界の舞台で活躍する強豪チーム。飯島健二郎監督は「3年連続となった年末年始の鹿屋合宿では、いいトレーニングができた。2年後の東京オリンピックを目指したい」と抱負を語りました。



憧 れのスターから の直接指導

1月21日、平和公園屋内練習場で、プロ野球・横浜DeNAベイスターズの若手選手(下祇川町出身)と阪神タイガースの森越祐人選手による野球教室が開催されました。これは両選手が市内で自主トレを行ったことから実施されたもの。参加した25人の中学生は、憧れの選手から守備や打撃についての直接アドバイスを受け、プロの技術や心がまえなどを学びました。



人 参の新ブランド の産地化へ

1月13日、KITADA SARUGGAで、機能性人参「こいくれない」の産地試食会が開かれました。「こいくれない」は、リコピンを豊富に含むことが特長で、市とNKアグリ㈱が産地化に取り組み、現在市内の6生産者が5.7ha作付けしています。この日は生産者・消費者・バイヤーなどが集まり、「こいくれない」を使った料理や加工品の味・食感などの意見が交わされました。



火 災や災害の無い 1年に

1月7日、市体育館で「平成30年鹿屋市消防出初式」が開催されました。式典には、市内全47消防分団の団員や女性消防隊をはじめ、大隅肝属地区消防組合や消防後援会などの関係者が一堂に集まり、今年1年の無火災・無災害を祈願。また、消防功労者をはじめ、親子・兄弟団員などに対する表彰などが行われました。